

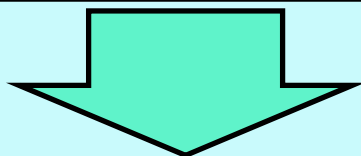
議題(1) 【報告】今年度下半期事業報告

④ICT利活用促進調査研究（実施済）

⑤買物困難者支援実証事業（継続中）

【前回幹事会における主な意見】

- ◇数年前からの目標であった「実事業」が、ようやく動き出した。ぜひ関係者が利益を享受できるモデルとなり、スケール拡大によって自立事業となっていくように目指してほしい。
- ◇「ICTありき」ではなく、ICTとは違う切り口も合わせて取り組んだ方が良いのではないかと。
- ◇アウトプットが広がるように取り組んだ方が、会員の満足度が上がるのではないかと。
ICTに決め打ちし過ぎると、大事なものを見失ってしまいかねない。



3月7日(火)にPT全体会議を開催し、以下について再確認・決定

- ◇「事業の目的」、唐津エリアにおける「ゴール」「ターゲット」「アプローチ」等について再確認
- ◇各チームにおいて実証フェイズに向けた検討

話し合いの結果については、次のスライドに記載

議題(1) 【報告】今年度下半期事業報告

P T会議（3月7日開催）で再確認・決定したこと

	項目	内 容
事業全体	事業全体の 目的の再確認	<p>×「買物困難者対策」そのもの ↓ ↓ ↓ ○「買物の不便さ」を感じている人に、ICTの便利さを実感してもらい、『ICTの利活用の促進に資する』こと</p>
	プロジェクト名 の変更	<p>【変更前】「買物困難者支援実証事業」 ↓ ↓ ↓ 【変更後】「ICT利活用促進実証事業(買い物)」</p> <p>[変更の理由] 事業目的である「県民にICTの便利さを実感してもらい、その利活用の促進に資する」を、より明確化</p>
唐津地区	ゴールの設定	実証事業期間終了後、当該ネットスーパーのサービスを自ら使える人が出てくる
	ターゲットの確定	<p>①買物拠点協力施設通所者 ※認知症患者も少なくないため、ケアマネージャーにより選定</p> <p>②施設周辺住民(主に元石町) ※事前調査で調査対象の約4割が本事業に関心あり</p>
	事業アプローチ	<p>ターゲット①「ネットショッピングお試し会(仮称)」を複数回開催 → 本実証事業に流しこみ</p> <p>ターゲット②「朝食支援からのスモールスタート」 → 徐々に選択肢拡大</p>

議題(1) 【報告】今年度下半期事業報告

今後の動きについて

	項目	内 容	備考
環境チーム	拠点施設の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のネット注文スペース確定 ・実証用の別回線の引込み 	施設内の談話スペースに確定 3/14に現地調査。詳細は施設とNTTで調整
	拠点への導入機器の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・「光ボックス」の購入 ・モニター or TVの決定 ・買物端末用としてのiPad(高情協備品)活用の有無 	28年度中に調達(NTT) 施設の既存設置のTV(2台目)の活用を決定 3/14複数利用時の補助用として導入を決定
使いこなし支援チーム	周辺住民向け支援	住民対象の「ネットショッピング体験会」を複数回開催 → 本実証事業に流込み	<ul style="list-style-type: none"> ・「講習会」では集まらない(民生委員談) ・目を引くチラシを複数回戸別配布(区長の協力あり) ・「まいづる」のメリット感を訴求
	通所者向け支援	施設通所者向けの個別支援を実施 → 通所者の来初時間がバラバラなことから、個別対応が必要 → 加えて、スタッフ向けの講習も実施	対象者を施設側で選定
	共通	講習スペースの確定	グループホーム2階

②ICT普及に関する講習会に対応



議題(1) 【報告】今年度下半期事業報告

H28年度

事業スケジュール (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
唐津地区	PT会議	拠点協力施設探し				拠点協力施設決定	幹事会報告	関係者と調査研究班の打合せ	周辺住民調査・分析		幹事会報告	PT会議	拠点施設・民生委員報告 幹事会報告
多久地区		関係者との意見交換											

H29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
唐津地区	実証準備	幹事会報告	総会報告	実証展開				幹事会報告	報告書作成	幹事会報告	分析評価		幹事会報告
多久地区					唐津の動向を踏まえて再協議予定								

議題(2)

次期中期推進項目(案)について 【決議事項】

H29～30年度の中期推進項目(案)について決定する

議題(2) 次期中期推進項目(案)について

次期中期推進項目(案)について

<1月幹事会におけるご意見>

- ☑2年間で必ず情勢は変化しているので、取組みの軸足を新しいものに変える必要があるのではないか。
- ☑産業界におけるセキュリティ(ランサムウェア)、AIやIoTなど時代の流れにあった内容の表現が、次期計画の中に含まれていないのは、時代を先取りしていくべき高情協としてはさびしいものがある。
- ☑変容している世の中の現状が分かる表現が入った方が良い。
- ☑2年間の成果として、数値目標を設定する必要があるのではないか？
→ 成果を正しくはかる指標が、なかなか見出しきれない状況にある。
企画運営Gでも検討を重ね、模索していくようにしていきたい。
- ☑大きな3つの柱は変わることはないのかもしれないが、中身のアップグレードは必要で、新たな目標の方向性を示すべきだと思われる。

企画運営Gと事務局で、今回の協議で出た意見を参考にして、3月の幹事会に再提案

議題(2) 次期中期推進項目(案)について

【現】中期推進項目[H27—H28]	【新】中期推進項目(案)[H29—H30]
<p>①情報リテラシー・セキュリティの普及推進 スマートフォンやSNS等の急速な普及に対し、利用者側の情報リテラシー・セキュリティの普及が未だ十分とは言えないことから、今後とも重点的に普及推進を図る必要がある。</p>	<p>①情報リテラシー・情報セキュリティの普及推進 <u>若年層を中心とした急速なICT機器の普及に加え、生活のあらゆる場面で新しいICTサービスが次々に提供され、ICT利用者の裾野が急激に広がった一方で、利用者側の情報リテラシー・情報セキュリティの普及は、未だ十分とは言えないことから、今後とも重点的に、県民向けの普及推進を図る必要がある。</u> <u>また、企業にとっても情報セキュリティリスクが高まる中で、特に中小企業はその対策が遅れているという状況にあることから、関係機関・団体等と協力して、対応が困難である中小企業の情報セキュリティ対策の重要性について普及啓発を進める。</u></p>
<p>②初心者向けのインターネット利活用普及推進 できるだけ多くの県民がICTの恩恵を受けられるよう、特にインターネット初心者に対してより効果的な普及推進を図る必要がある。</p>	<p>②ICT利活用普及推進 <u>ICT利用初心者はもとより、十分な利活用に至っていない方に対し、趣味、買物、健康、安全、見守りなど、生活の様々な場面で、ICTの恩恵を十分に受けられるよう、ICT機器やICTサービスの普及動向や利用者ニーズに対応した、より効果的な普及推進を図る必要がある。</u></p>
<p>③県民が実感できる効果的なICTの利活用促進 医療・福祉、健康増進、観光、農林水産業や商工業等において、県民が「効果を実感できるICTの利活用」促進に資するため、佐賀県内の企業、自治体、大学などの産学官の連携を促して、ICTを活用した「仕組み」を検討し、きっかけとなる取組の企画立案や核となる人材育成等を行う。</p>	<p>③県民が実感できる効果的なICTの利活用促進 医療・福祉、健康増進、観光、農林水産業や商工業等において、県民が「効果を実感できるICTの利活用」促進に資するため、<u>ICTの先進的な利活用事例の調査</u>や佐賀県内の企業、自治体、大学などの産学官の連携を促して、ICTを活用した「仕組み」を検討し、きっかけとなる取組の企画立案を行う。 <u>また、IoT、ビッグデータ、AI、ブロックチェーン、オープンソースソフトウェアなど、刻々と進化する最先端の技術や社会情勢、国の動向等について、情報収集等を行い、県民、県内中小事業者等に提供する。</u></p>

【参考】スマートフォンの保有動向(平成28年度消費生活白書より)

●スマートフォンの普及が急速に進む

総務省「通信利用動向調査」によると、スマートフォンを含む携帯電話は、7割以上が保有しており、中でもパソコンと同等の機能を携帯電話で利用できるスマートフォンは、2014年末で44.7%が保有しており、前年の39.1%から5.6ポイント増加（図表2-1-24）

➤スマートフォンの保有状況(年齢層別)

2014年末で

13～19歳・・・71.7%

20歳代・・・88.9%

30歳代・・・79.0%

⇒若い世代で保有割合が高い

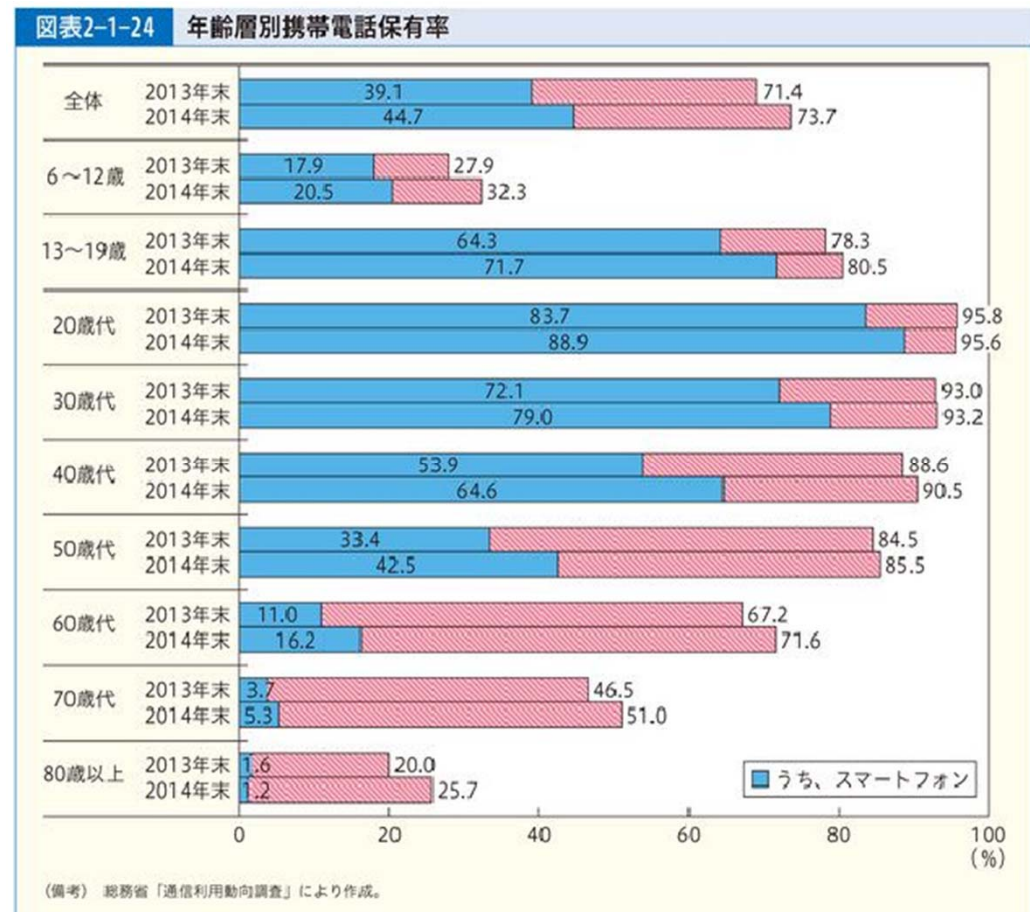
2013年末から2014年末にかけて

40歳代・・・前年比10.7ポイント増

50歳代・・・前年比9.1ポイント増

⇒より高い年齢層への広がりが見られ、幅広い年齢層でスマートフォンが利用されるようになっている

☆こうした手軽な端末の普及がインターネットの利用拡大に寄与しているとも考えられる





不正アクセスにより会員情報漏洩 イベント制作会社

イベント制作を行っている株式会社ネルケプランニングは同社のWebサーバが不正アクセスを受け、会員情報が漏えいした形跡があると平成29年2月22日に発表。現在のところ詳細は調査中だがウェブサーバがSQLインジェクション攻撃を受けた形跡を確認したとのこと。漏えいした可能性のある情報は下記の通り。

会員数全48,925名

メールアドレス 最大48,925件

氏名 最大802件

フリガナ 最大802件

生年月日 最大802件

性別 最大823件

住所（都道府県まで）最大802件

郵便番号 最大10,447件

住所 最大802件

電話番号 最大10,447件

メールアドレス 最大17,442件



元従業員が顧客情報を無断持出し GMO

元従業員が顧客情報等の重要情報を社外へ無断で持出しをしたとGMOメイクショップが平成29年2月16日に発表。退職後に元従業員が個人で業務を請け負っていた会社関係者から在職中に知り得た顧客情報や営業関連データを持ち込んでいる可能性があると同社に通報したことにより発覚。現在は経緯や原因究明を目的としたフォレンジック調査を外部機関に依頼して調査中とのこと。調査結果により下記発表情報は変動する可能性あり。

総件数：32,800件

①店舗運営者情報 28,001件（ショップID、企業名、住所、電話番号、運営者名、メールアドレス）

そのうち、13,495件の店舗様で、売上に関する情報（ショップID、商品数、平均商品単価、ショップ会員数、月間流通額、月間注文数）の流出を確認。

②代理店担当者情報 4,579件（企業名、住所、電話番号、担当者名）

③同社主催セミナー参加者情報 220件（企業名、住所、電話番号、氏名）

議題(3)

来年度事業の具体的方向性 について 【決議事項】

来年度事業計画策定に当たっての具体的な方向性(既存事業の存廃、新規事業候補)について、決定する

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業の評価及び来年度事業についての検討

中期推進項目①「情報リテラシー・セキュリティの普及推進」（その1）

今年度事業実績及び評価	来年度実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆ ICT利活用講演会 [5/26・11/24]</p> <p>◇ 1回目テーマ「セキュリティ」 2回目テーマ「防災×ICT」</p> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旬なテーマで開催し、参加者の満足度高 ・ 一般県民に対する広報・集客に課題 ・ 2回目の経費が想定より膨らんだ <p>※複数講師及び広報等に経費がかかり、 想定（400千円）の約2倍に</p>	<p><input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止</p>	<p>◆ ICT利活用講演会 [5/23予定]</p> <p>◇ テーマ「IoT」</p> <p>※OPTiM（オプティム）に対談者依頼を行って はどうか？</p>
<p>◆ ICT利活用事例視察 [2/1]</p> <p>◇ 視察先は長崎県の産学官の3事例</p> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産官学それぞれの内容で提供できたために、参加者の評価が高かった ・ 開催時期について検討すべき意見あり ・ 会員からの要請により実施する 	<p><input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止</p>	<p>※来年度の視察先候補として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市（IT推進計画） ・ 福岡市（BODIC） <p>などどうか？</p> <p>※泊付きでの視察まで広げてはどうか？</p>

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目①「情報リテラシー・セキュリティの普及推進」（その2）

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆情報セキュリティ関係機関・団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇サイバーセキュリティ対策セミナー[8/23]への 名義後援 ※主催は県警本部 ◇佐賀県サイバーセキュリティ対策シンポジウム[2/14] への名義後援 ※主催は県警本部・県等 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との連携により、セミナー・シンポジウムの開催に導けた。 	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	
<p>◆ネットの安全・安心けいはつコンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇実行委員会への参画（会長） ◇「高情協賞」の授賞交付 ◇表彰式協力 [2/18] ◇広報協力 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募点数が昨年度に比べ約半減 → 同種のコンクールとのすみわけの検討 → 学校教育課から現場への働きかけ強化が必要 	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目①「情報リテラシー・セキュリティの普及推進」(その3)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆情報モラル啓発イベント [2/25・26]</p> <p>☆「ネットの安全・安心けいはつコンクール受賞 作品展示」「ICT相談ブース」「情報モラル クイズ・アンケート」をモーション佐賀で実施</p> <p>【評価・課題】 スライド13～20を参照</p>	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	
<p>◆ICT普及に関する講習会</p> <p>☆「はじめてのスマホ・タブレット講座」開催</p> <p>・7/16に小城市、9/17に鹿島市</p> <p>・スマートフォン・タブレット・SNS講座</p> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回とも参加者より好評価 ・小城市定員120名を大幅超過で講座追加 ・参加者の追跡調査(効果測定)を検討 ・買物実証事業と連携予定の唐津地区における「ネットショッピング」に関する講習会の未実施 	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目①「情報リテラシー・セキュリティの普及推進」(その4)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆ICT利活用推進団体支援事業</p> <p>◇中期推進項目に該当する事業への補助 (3団体に15万円上限で補助)</p> <p>◇今年度は①と②に該当する3事業に補助</p> <p>【評価・課題】 (団体からの報告を含め) スライド 23~26 を参照</p>	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	
<p>◆ネットワーク・広報事業</p> <p>◇HP、FB、Twitterによる事業告知・ 報告・会員企業情報・ICT関連情報の発信</p> <p>◇YouTubeチャンネルでの事業内容を動画で発信</p> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に情報発信 ・閲覧者増加のための取組検討が必要 ・会員専用ページの活性化が課題 	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部変更 <input type="checkbox"/> 廃止	

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目②「初心者向けのインターネット利活用普及推進」(その1)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆ICT利活用促進調査研究</p> <ul style="list-style-type: none">◇「買物困難者支援実証事業」と連携実施◇買物拠点協力施設周辺住民への調査 <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・実証エリアにおける住民の買物やICT使いこなし等の現状を把握することができた。・調査研究班が就職活動により一定期間動けなかった <p>※本会議にて羽石幹事から直接報告あり</p>	<p><input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>一部変更 <input type="checkbox"/>廃止</p>	

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目②「初心者向けのインターネット利活用普及推進」(その1)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
◇ICT利活用講演会・ICT利活用事例視察 再掲【スライド37】を参照	—	—
◇ICT普及に関する講習会 再掲【スライド39】を参照	—	—
◇ICT利活用推進団体支援事業 再掲【スライド40】を参照	—	—
◇ネットワーク・広報事業 再掲【スライド40】を参照	—	—

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目③「県民が実感できる効果的なICTの利活用促進」(その1)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
<p>◆買物困難者支援実証事業 [継続中]</p> <p>◇唐津エリア(ネットスーパー)と多久エリア(商店街)の2地区での実証検討</p> <p>◇唐津エリアにおける買物拠点協力施設及び実証対象者決定、事業目的の確認、支援方法の検討を行った</p> <p>【評価・課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・PT結成から1年が経ち、ようやく唐津エリアにおける実証フェーズに進める段階・多久エリアについては、現在休止中となっており、唐津での状況を踏まえて、多久市との協議を再開	<p><input type="checkbox"/>継続</p> <p><input type="checkbox"/>一部変更</p> <p><input type="checkbox"/>廃止</p>	

議題(3) 来年度事業の具体的方向性について

今年度事業評価及び来年度事業案についての検討

中期推進項目③「県民が実感できる効果的なICTの利活用促進」(その2)

今年度事業実績及び評価	来年度 実施判断	来年度事業の具体的方向性
◇ICT利活用講演会・ICT利活用事例視察 再掲【スライド`37】を参照	—	—
◇ICT普及に関する講習会 再掲【スライド`39】を参照	—	—
◇ICT利活用促進調査研究 再掲【スライド`41】を参照	—	—
◇ICT利活用推進団体支援事業 再掲【スライド`40】を参照	—	—
◇ネットワーク・広報事業 再掲【スライド`40】を参照	—	—

議題(4)

本協議会の今後の方向性の 検討について 【決議事項】

本協議会の今後の方向性検討の
進め方及び検討チームメンバーを
決定する

議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

論点整理

今回検討する上での論点は？

- ◇ 『組織論』 (協議会の存在意義の問題)
- ◇ 『方法論』 (運営の仕方の問題)
- ◇ 『手続き論』 (事務的なものの問題)

<過去の検討の論点はあったのか？>

[H18年度] 高情協事業検討部会

- ◇ 普及啓発型運営からプロジェクト型運営への転換
- ◇ 幹事会の再編による機能強化

→ 「方法論」での議論 (※最初は「組織論」からスタート)

[H25年度] あり方検討PT会議


- ◇ 中期推進項目の設定 ◇ 企画運営G・広報Gの新設

→ 「方法論」での議論 (※最初は「組織論」からスタート)

幹事会として求める論点は・・・

議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

検討のスケジュール・進め方（案）

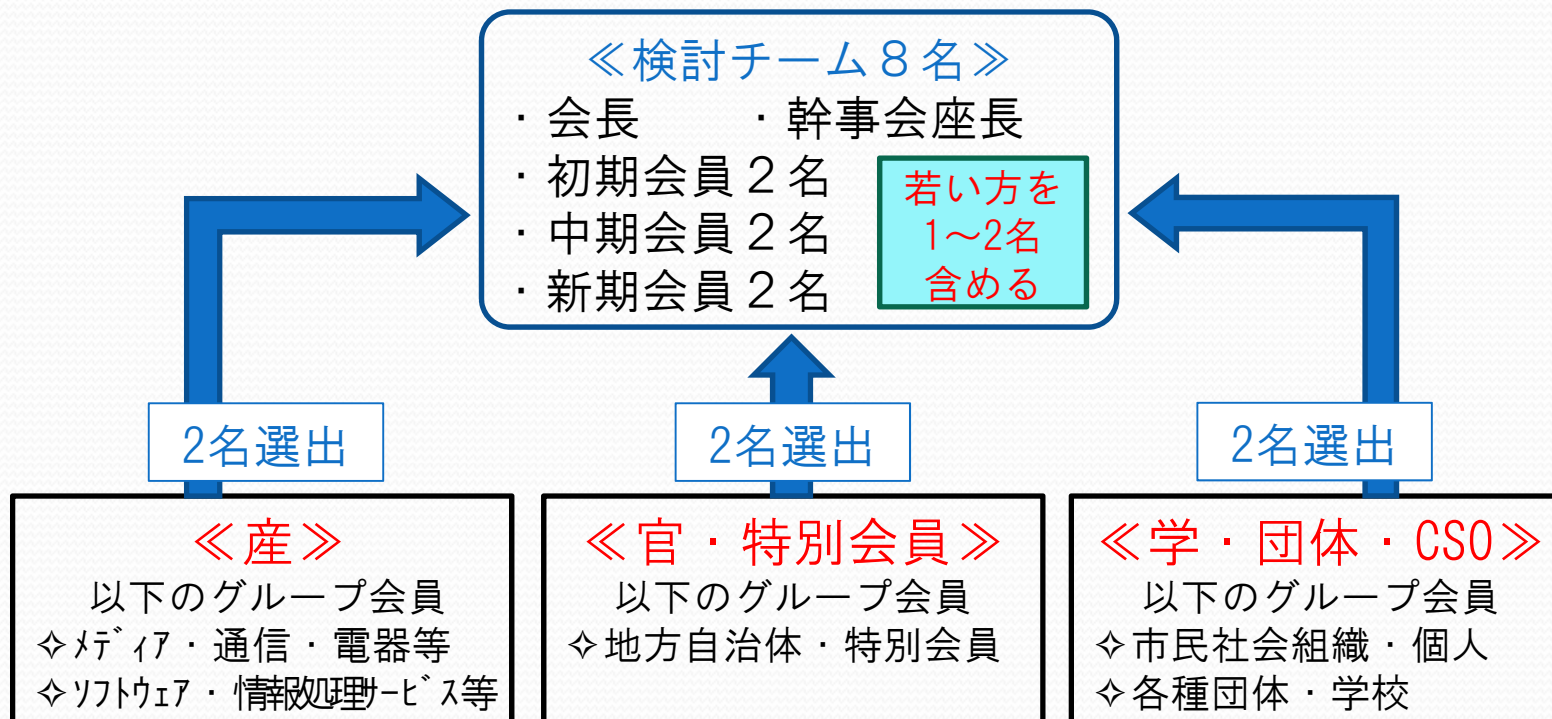
	H28年度	H29年度											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	<ul style="list-style-type: none"> 3月幹事会 メンバー選定 第1回検討会日程決定 		<ul style="list-style-type: none"> 定期総会 検討方針報告 				<ul style="list-style-type: none"> 9月幹事会 中間報告 検討結果議論 		<ul style="list-style-type: none"> 11月幹事会 最終案報告 最終案承認 		<ul style="list-style-type: none"> 1月幹事会 		<ul style="list-style-type: none"> 3月幹事会
検討		<ul style="list-style-type: none"> 第1回検討会 リーダー等役割決定 検討方針の決定 		<ul style="list-style-type: none"> 第2回検討会 ゼロベースでの検討開始 ↓ 廃止？ 存続？ 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回検討会 前回の結果（廃止・存続前提）により継続検討 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回検討会 ※必要に応じ開催 		<ul style="list-style-type: none"> 第5回検討会 幹事会議論結果を受けて「再検討」又は「まとめ」 	<ul style="list-style-type: none"> 第6回検討会 ※必要に応じ開催 	<p>予算措置</p>  <p>(必要な場合は臨時総会)</p>			

議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

検討チームの編成方針（案）

< (確認) 検討チーム編成についての1月幹事会におけるご意見 >

- ☑ 産・官・学のそれぞれのグループより選出
- ☑ 幹事在任期間により初期・中期・新期のそれぞれが含まれるように
- ☑ (運営しやすいように) 人数はあまり多くなり過ぎないように
- ☑ なるべく若い方を含めるように



議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

(参考資料) 現 副会長・幹事 在任期間

	役職名	所属	氏名(敬称略)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	分類	備考	
産	副会長	株式会社ケーブルワン	大野 裕志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	幹事	株式会社プライム	福田 真也			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	幹事	有限会社佐賀情報ビジネス	江島 光代			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	幹事	株式会社佐賀新聞社	森本 貴彦									○	○	○	○			
	幹事	株式会社佐賀電算センター	岩永 信二									○	○	○	○			
	幹事	株式会社佐賀IDC	江島 良二									○	○	○	○			
	幹事	株式会社九州コーユー	永石 茂											○	○			
	幹事	ニシム電子工業株式会社佐賀支店	長谷川 尚志												○	○		
	幹事	九州電力株式会社佐賀支社	新開 巧児													○		
	幹事	西日本電信電話株式会社佐賀支店	加藤 郁雄													○		
学・団体・CSO	座長	NPO法人NetComさが	西村 龍一郎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	幹事	NPO法人ITサポートさが	浴本 信子			○	○							○	○			
	幹事	佐賀コンピュータ専門学校	堤 和義					○	○	○	○	○	○	○	○			
	幹事	佐賀大学	羽石 寛志							○	○	○	○	○	○			
	幹事	唐津ビジネスカレッジ	下木 祐二								○	○	○	○	○			
	副会長	佐賀大学	松前 進									○	○	○	○			
	幹事	佐賀商工会議所	小寺 康介									○	○	○	○			
	幹事	NPO法人シニア情報生活アドバイザー佐賀	久野 美津代											○	○			
	幹事	NPO法人シニアネット佐賀	香月 幸雄												○			
	幹事	唐津情報都市推進協議会	能隅 文興												○			
官・特別会員	幹事	(公財)佐賀県地域産業支援センター	志波 幸男								○	○	○	○	○		設立に尽力	
	幹事	有田町	吉永 繁史											○	○			
	幹事	佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会	牧 直寛												○			
	幹事	武雄市	大野 貴宏												○			

議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

(参考資料) 現 会員名簿【企業会員】

グループ	会 員 (平成29年3月1日現在)
メディア・ 通信・電器など (30+2) 計32	西日本電信電話(株)佐賀支店、(株)ドコモCS九州佐賀支店、九州電力(株)佐賀支社、九州通信ネットワーク(株)佐賀支店、ニシム電子工業(株)佐賀支店、KDDI(株)コンシューマ佐賀支店、(株)サガテレビ、日本放送協会佐賀放送局、(株)エフエム佐賀、NBCラジオ佐賀、有田ケーブル・ネットワーク(株)、伊万里ケーブルテレビジョン(株)、(株)唐津ケーブルテレビジョン、佐賀シティビジョン(株)、西海テレビ(株)、(株)ケーブルワン、藤津ケーブルビジョン(株)、(株)多久ケーブルメディア、(株)テレビ九州、(株)佐賀新聞社、(株)佐賀銀行、(有)西九電装エンジニアリング、(株)宮園電工、日本電気(株)佐賀支店、富士通(株)佐賀支店、(株)ソアー、(株)音成印刷、誠文堂印刷(株)、大同印刷(株)、(株)古川総合印刷 佐賀県ケーブルテレビ協議会、(一社)日本CATV技術協会佐賀地区支部
ソフトウェア・ 情報処理サービスなど (23+1) 計24	伊万里情報センター(株)、西肥情報サービス(株)佐賀事業所、(株)佐賀情報管理センター、(株)佐賀電算センター、(株)佐賀IDC、佐銀コンピュータサービス(株)、(株)ジェピック、(株)ジムコ、ダイワボウ情報システム(株)佐賀支店、名村情報システム(株)、NDSデータソリューションズ(株)佐賀センター、(株)富士通九州システムサービス、(株)プライム、(有)佐賀情報ビジネス、木村情報技術(株)、(株)トゥーフクトリー、フリービットスマートワークス(株)、(株)エヌビーコム、(株)サインズ、日本建設技術(株)、(株)マルゼン看板、(株)学映システム、(株)九州コーユー 佐賀県ソフトウェア協同組合

議題(4) 本協議会の今後の方向性の検討について

(参考資料) 現 会員名簿【企業会員以外】

グループ	会 員 (平成29年3月1日現在)
市民社会組織・ 個人 計 7	NPO 法人佐賀県 CSO 推進機構、NPO 法人 Net Com さが、 NPO 法人 IT サポート さが、NPO 法人 シニア ネット 佐賀、 NPO 法人 シニア 情報 生活 アドバイザー 佐賀、平田 義信、中村 純一
各種団体・学校 計 14	佐賀商工会議所、佐賀県商工会連合会、佐賀県中小企業団体中央会、 佐賀県農業協同組合中央会、佐賀県有明海漁業協同組合、 (一社)佐賀県医師会、(一社)佐賀県建設業協会、(公社)佐賀県トラック協会、 (公財)佐賀県地域産業支援センター、唐津情報都市推進協議会、 コープさが生活協同組合、唐津ビジネスカレッジ、 佐賀コンピュータ専門学校、佐賀大学
地方自治体・ 特別会員 計 28	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、 嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、 有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、佐賀県、九州総合通信局、 九州経済産業局、九州農政局佐賀支局、佐賀県市長会、佐賀県町村会、 佐賀県消費者グループ協議会、 佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会

計105会員

議題(5)

次期幹事、各Gについて 【決議事項】

幹事、各Gの応募状況について御報告するとともに、
仮に、20人に満たない場合(規定上は「25人程度」)
の取扱い等について決定する

その他(2) 次期幹事・各Gメンバー応募状況について

＜「次期幹事」応募会員（3月22日現在）＞

計 20名

グループ	会員名	役職	氏名（敬称略）	継続or新規
メディア 通信・電器 など 【4会員】	西日本電信電話(株)佐賀支店	副支店長(ビジネス営業部長)	加藤 郁雄	継続
	九州電力(株)佐賀支社	技術部通信ソリューショングループ長	松崎 茂樹	新期
	ニシム電子工業(株)佐賀支店	支店長	長谷川 尚志	継続
	(株)佐賀新聞社	編集局メディアコンテンツ部長	森本 貴彦	継続
ソフトウェア 情報処理 サービス など 【4会員】	(株)佐賀電算センター	公共事業部マネージャー	岩永 信二	継続
	(株)佐賀IDC	センター事業部取締役部長	江島 良二	継続
	(株)九州コユウ	取締役営業部兼システム部長	永石 茂	継続
	(株)プライム	代表取締役	福田 真也	継続
市民社会 組織・個人 【3会員】	NPO法人NetComさが	理事長	西村 龍一郎	継続
	NPO法人シニアネット佐賀	理事長	香月 幸雄	継続
	NPO法人シェア情報生活アドバイザー-佐賀	理事長	久野 美津代	継続
各種団体 学校 【6会員】	佐賀商工会議所	企画・推進班主任	小寺 康介	継続
	(公財)佐賀県地域産業支援センター	専務理事	志波 幸男	継続
	唐津情報都市推進協議会	事務局員	能隅 文興	継続
	唐津ビジネスカレッジ	事務長	下木 祐二	継続
	佐賀コンピュータ専門学校	事務長	堤 和義	継続
	佐賀大学	経済学部准教授	羽石 寛志	継続
地方自治体 特別会員 【3会員】	有田町	財政課長	吉永 繁史	継続
	市	現在打診中		
	佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会	事務局員	牧 直寛	継続

その他(2) 次期幹事・各Gメンバー応募状況について

規約等の確認（幹事関連抜粋）

＜佐賀県高度情報化推進協議会規約より抜粋＞

第2章 会員

（役員）

第8条 本会に次の役員を置く。

（3）幹事 25名程度

2 幹事については、別に定める佐賀県高度情報化推進協議会幹事会設置・運営規定により選出し、総会において承認する。

（役員任期）

第10条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

その他(2) 次期幹事・各Gメンバー応募状況について

規約等の確認（幹事関連抜粋）

＜佐賀県高度情報化推進協議会幹事会設置運営規定より抜粋＞

（設置）

第2条 幹事は、佐賀県高度情報化推進協議会の会員から推薦を含む公募を通じて選出する。

- 2 公募は、別表の区分に基づき、「メディア・通信・電器など」「ソフトウェア・情報処理サービスなど」「市民社会組織・個人」「各種団体・学校」「地方自治体・特別会員」のグループごとに行う。
- 3 公募の結果をもとに各グループより5名程度を選出し全体で25名程度の幹事を決定する。
- 4 「地方自治体・特別会員」グループについては、市から1名、町から1名の幹事を選出する。

その他(2) 次期幹事・各Gメンバー応募状況について

＜「次期企画運営G」応募会員（3月22日現在）＞

計 4名

会員名	役職	氏名（敬称略）	継続or新規
西日本電信電話(株)佐賀支店	副支店長	加藤 郁雄	新期
(株)佐賀電算センター	公共事業部マネージャー	岩永 信二	継続
(株)九州コーユー	取締役営業部兼システム部長	永石 茂	継続
佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会	事務局員	牧 直寛	継続

＜「次期広報G」応募会員（3月22日現在）＞

計 3名

会員名	役職	氏名（敬称略）	継続or新規
九州電力(株)佐賀支社	技術部通信ソリューショングループ長	松崎 茂樹	新期
(株)佐賀新聞社	編集局メディアコンテンツ部長	森本 貴彦	継続
(株)プライム	企画営業部部長	青木 孝広	新期

その他(2) 次期幹事・各Gメンバー応募状況について

各G設置要綱

<佐賀県高度情報化推進協議会企画運営グループ設置要綱より抜粋>

(組織)

第3条 企画運営グループの構成員は、高情協の会員のうち参加を希望する者とし、5名程度とする。
構成員の任期は、幹事の任期と同一とする。

<佐賀県高度情報化推進協議会広報グループ設置要綱より抜粋>

(組織)

第3条 広報グループの構成員は、高情協の会員のうち参加を希望する者とし、5名程度とする。
構成員の任期は、幹事の任期と同一とする。

その他(1)

来年度の総会に向けた日程調整
第1回幹事会
定期総会・第1回ICT利活用講演会
について

その他(1) 来年度第1回幹事会、定期総会・ 第1回ICT利活用講演会について

第1回幹事会開催日時・場所
4/26(水) 14:00-16:00
@メートプラザ佐賀

Apr **4** 2017

日	月	火	水	木	金	土
						先勝 1
友引 2	先負 3	仏滅 4	大安 5	赤口 6	先勝 7	友引 8
先負 9	仏滅 10	大安 11	赤口 12	先勝 13	友引 14	先負 15
仏滅 16	大安 17	赤口 18	先勝 19	友引 20	先負 21	仏滅 22
23 大安 30 友引	赤口 24	先勝 25	仏滅 26	大安 27	赤口 28	先勝 29 前葬の日

総会・講演会開催日時・場所
5/23(火) 午後(時間未定)
@グランデはがくれ

May **5** 2017

日	月	火	水	木	金	土
	先負 1 メーデー	仏滅 2	大安 3 豊満記念日	赤口 4 みどりの日	先勝 5 こどもの日	友引 6
先負 7	仏滅 8	大安 9	赤口 10	先勝 11	友引 12	先負 13
仏滅 14 母の日	大安 15	赤口 16	先勝 17	友引 18	先負 19	仏滅 20
大安 21	赤口 22	先勝 23	友引 24	先負 25	大安 26	赤口 27
先勝 28	友引 29	先負 30	仏滅 31			

その他(1) 来年度第1回幹事会、定期総会・ 第1回ICT利活用講演会について

定期総会・第1回ICT利活用講演会の日程等について(案)

[日 時] 平成29年5月23日(火) 13:30-16:50

[場 所] グランデはがくれ2Fフラワーホール(佐賀市天神2丁目)

[内 容] 【1】定期総会(13:30-14:30)

【2】ICT利活用講演会

I 講演(14:45-16:15)

II 対談(16:20-16:50)

※講演会終了後、懇親会を予定。
(90分程度)



その他(1)第1回ICT利活用講演会について

前回幹事会での議論

事務局案 「IoT＋セキュリティ」

幹事会での意見

- ・「セキュリティ」としてしまうと、技術論になり範囲が狭い。
- ・「5～15年後を見据えたビジョン」としてのIoTをテーマにした方が良いのでは？

◆今回出た意見を踏まえて、各自テーマ(できれば講師候補まで)案を、Web会議に提出(2月7日(火)期限)。その結果をもって幹事会決定とする。

Web会議での議論

- ・IoTなどの進展がもたらす5年後～10年後のビジョン。
- ・IoTが、県内の企業や自治体、一般県民にとってどのようなメリットがあるのかについて、できるだけ具体的な先進事例や研究事例を交えて、話してほしい。

幹事会決定

『IoTの進展がもたらす近未来（仮題）』

第1回ICT利活用講演会の講師案について

★講師候補者選定のポイント(Web幹事会意見より)

- ・ 特定分野の技術論ではなく、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなどの先端技術が、5年後、10年後の世の中にどのような影響を与えるかといった広い観点から、将来の展望が期待できる。
- ・ 県内の中小企業や自治体、一般県民にとって、どのようなメリットや備えておくべき点があるかについて、具体的な先進事例や研究事例の紹介が期待できる。

【講師候補①】 井下田 久幸 氏(ドルフィア株式会社代表取締役)

- ◆ IT業界一筋で32年。2万人の企業、20人の企業、200人の企業、2千人の企業で、SE、マーケティング、営業、経営者と幅広く経験。
- ◆ 難しいITを分かりやすく、役に立つ情報として、デモを披露したり、世の中の動向とITの動向を絡めて話すなど、そのわかり易さから、セミナー・講演はいつも好評。
- ◆ 講演実績は、2000回を優に超しており、ITに関して幅広い観点からの講演依頼に対応可能で、説明が大変分かりやすいと評判。
- ◆ 「IoT、ビッグデータ、AIが、社会や経営環境にどのような変化をもたらすか」などをテーマに講演実績多数。



☆ IoTだけでなく、AI、セキュリティ等幅広い分野の講演可能 <「講演依頼.com」推薦>

<経歴>

昭和59年	日本IBM(株)入社。アカウントSE、本社メインフレーム/ストレージ担当SE、大和研究所、ソフトウェア事業部SE及びマーケティング担当
平成12年	ソフトウェア開発等を行うインフォテリア(株)入社。事業部長、マーケティング、技術支援責任者。
平成17年	事前防御系のセキュリティソリューションを提供するインターネット・セキュリティ・システムズ(株)入社。執行役員。CIO兼マーケティング責任者
平成20年	ハードウェア/ソフトウェア及び生産管理パッケージの開発、製造、販売のJBアドバンス・テクノロジー(株)入社。執行役員。ソフトウェア開発責任者。
平成26年	ドルフィア(株)創業。代表取締役。

< 井下田氏からお伺いした最近の講演内容 >

- ◆ 私はIBMを初め、IT業界に33年間おりました、メインフレームに始まり、最近ではビッグデータやIoTなど、幅広く講演依頼をいただくことが多い。
- ◆ 前職の一部上場企業にて役員をしていた時に、研究所の所長を担い、ビッグデータやIoTをメインにやっていたので、この辺の話は一番熱く語ります。

< 直近の講演実績(主なもの) >

日付	演題	メインテーマ	対象者
H28.1.25	『人』をここまで活性化させるITの最新動向	IoT	北陸銀行の関連会社経営者110名
H28.7.11	「『2020年』へ向けて。今から準備すべきITと経営と社会貢献」	IoT、ビッグデータ、AIといったキーワードが社会に与えるインパクト	多摩経営者クラブ
H28.7.21	「『人』をここまで活性化させるITの最新動向」	IoT	アインズ(株)のパートナー会社100社の経営者
H28.9.19	「知って得する最先端のIT活用～魅力的なビジネスパーソンになるための90分～」	最先端技術がビジネスや生活にどう還元されているか	一般の方

【講師候補②】 中村 浩樹 氏(ヤフー株式会社)

- ◆ ヤフーのIoT部門の責任者であり、スマートデバイス推進本部「myThings」(※1)サービスマネージャー。
- ◆ また、IoT時代に向けた事業者向けプラットフォームである「myThings Developers」(※2)のサービスマネージャーを担当
- ☆ 前回の「防災×ICT」講演会の講師 田中様より、講師適任者として紹介いただいた。

(※1)インターネットサービスやIoTプロダクトを利用して、個人が自分の好みに合わせた便利な組み合わせを作ることができるツール
 (※2)事業者や個人が、自らのサービス・プロダクトと様々なウェブサービス・IoTデバイス(チャンネル)を組み合わせることで独自のサービスを生み出すことのできるツール



<直近の講演実績(主なもの)>

日付	演題	メインテーマ	対象者
H28.1.28	Yahoo! JAPANが目指すIoTサービス！その推進力となる“my Things”戦略	ヤフーのIoT事業の最新動向と今後の展開	一般
H28.12.14	Connect Everything～my Thingsが目指す繋がる未来～	「my Things」の運営の中で見えてきたIoTの未来と可能性について	一般50名 (主催NPO法人ハーモニアイ)

Yahoo! JAPAN、IoT時代に向けた事業者向けプラットフォーム 構想を発表 新たな体験を提供するユーザー向けスマホアプリ 「myThings」も公開

～全てのモノがインターネットにつながる近い未来に
あらゆる企業・開発者とともIoTの力を人々のもとへ届ける～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、来るIoT時代に向け、事業者向けプラットフォームサービス「myThingsプラットフォーム」の提供を開始します。併せて、本プラットフォームを活用して開発したユーザー向けスマートフォンアプリ「myThings」（iOS/Android用）を本日公開しました。

昨今、家電製品や自動車など身の回りのさまざまなモノ（製品）とインターネットをつなげて、新しい価値を創出するIoT（Internet of Things）分野に注目が集まっており、日常で使用する製品以外にも医療や農業、交通インフラなど幅広い活用が期待されています。

Yahoo! JAPANは広がりを見せるIoT分野に対して、インターネットサービス事業者の目線で「ユーザーの生活を豊かにする」ことを目的として以下の取り組みを開始します。

1. 事業者向けプラットフォームサービス「myThingsプラットフォーム」の提供

「Connect Everything（全てをつなげる）」をコンセプトとした、さまざまなIoT製品やWEBサービスのAPIを集めた事業者向けプラットフォームサービス「myThingsプラットフォーム」を提供します。事業者は本プラットフォーム上に公開されているAPIを使い、新製品・サービスの開発や、既存製品・サービスの新しい価値の創出が可能となります。また、自社製品・サービスのAPIを本プラットフォーム上に公開し、他事業者がそのAPIを活用することで、製品・サービスに本来想定していなかった付加価値が生まれ出されます。

Yahoo! JAPANは、本プラットフォームをIoT分野での取り組みの基盤とし、多くの事業者と連携しながら本プラットフォームを拡充していきます。まずは、協力いただける事業者に対して個別に本プラットフォームを提供し、連携しながら新たな製品・サービスの開発に取り組みます。そして、将来的には大手から中小企業、個人まであらゆる事業者・開発者が、あらゆるAPIを利用できるよう本プラットフォームをオープン化していきます。オープン化により、製品とWEBサービスの融合が容易に行える環境を実現することで、IoT分野の発展と人々の生活を豊かにする製品・サービスの創出に貢献してまいります。



2. “組み合わせ”という新体験を提供するユーザー向けスマホアプリ「myThings」の提供

モノとサービス、サービスとサービス、モノとモノなど、自分が使用しているIoT製品やWEBサービスを組み合わせることで新しい便利な使い方を生み出せるスマートフォンアプリ「myThings」を本日公開しました。本アプリは「myThingsプラットフォーム」を活用して開発したもので、1つのモノやサービスだけでは味わえない“組み合わせ”による新体験をユーザーに提供します。

例えば、「GYAO!」やYouTubeで好みの動画が公開されたらその動画のリンクを自動的に保存して見逃しを防止したり、インターネットにつながった室内温度計が一定の温度を超えたらメールで知らせ、自分や家族の室内熱中症の予防につなげたりすることができます。

今後、利用シーンをさらに増やし、“最高気温が高い日は、朝、エアコンを自動的に起動して、快適に目覚められる”“ユーザーの眠りを感じたら家電製品の電源を切り、節電に役立てる”“帰宅時、最寄駅に着いたら自宅の照明をつけて、安心して家に帰れるようにする”など、生活の中でより役立つ組み合わせの提供を目指していきます。

本アプリ内には、オススメの組み合わせがあらかじめ用意されており（※1）、ユーザーは好きな組み合わせを選ぶだけで利用いただけます。また、本アプリ内で使用できるIoT製品やWEBサービスといくつかの条件を組み合わせ、ユーザー自身が新しい使い方を作成することもできます（※2）。

さらに、個人開発者が自作したIoTデバイスと本アプリと連携させることもできます。株式会社IDCフロンティアと協力して提供する「IDCF」チャンネルを利用すれば自作IoTデバイスと本アプリをつなげて、新しい組み合わせを作ることができます。



候補者の評価

項目 \ 候補者	ドルフィア 井下田氏	Yahoo! 中村氏
IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなどの先端技術が、5年後、10年後の世の中にどのような影響を与えるかといった幅広い観点から、将来の展望についての話が期待できること。	<ul style="list-style-type: none"> ○ IT業界30年以上の勤務実績があり、SE、マーケティング、営業、経営者と幅広く経験。 ○ IoTを初めとした先端技術が世の中にどのような影響を与えるか、といったテーマでの講演経験も豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 超大手ヤフーのIoT部門の責任者であり、ユーザーに近い「アプリケーション」分野における「IoT」の講話が期待 ▲ 幅広い分野での「将来ビジョン」の観点では、井下田氏に一步譲るのではないか。
県内の中小企業や自治体、一般県民にとって、どのようなメリットや備えておくべき点があるかについて、できるだけ具体的な先進事例や研究事例の紹介が期待できること。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ITを分かりやすく、役に立つ情報として、デモを披露したり、世の中の動向とITの動向を絡めて話すなど、サービスの受け手側の目線からの講話が期待 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アプリケーションという、一般県民には、なじみの深い分野の講話は期待。 ▲ 自社以外の取組についての具体的な事例についての知見を有するか疑問。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ▲ 前回のYahoo!の田中さんに引き続き同社の企業色が強くなってしまふ。
評価	1位	2位